

令和8年第6回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和8年6月26日（金）午後1時00分～午後1時30分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 502会議室
- 3 出席委員等
教育長 玉川 良雄
委員 林 哲人
委員 木佐谷 真理子
委員 笠谷 由美子
- 4 会議に出席した事務局職員
教育部長 今谷 昌博
教育次長 引頭 康行
学校教育課長 田谷 義和
学校給食課長 池田 年規
生涯学習振興課長 戸高 孝文
図書館長 網本 浩明
中央公民館長 桑島 洋明
- 5 会議の書記 教育総務課管理係長 小濱 徹
- 6 会議録の署名委員 林 哲人 木佐谷 真理子
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題
(1) 報告第16号 下松市就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について
- 9 会議の付議の顛末

○教育長 それでは、6月の教育委員会定例会を開催いたします。

本日の議事録署名人ですが、林委員、木佐谷委員のほうでお願いします。

(1) 報告第16号 天王森古墳出土埴輪の「発掘された日本列島2026」展への 出展について

○教育長 それでは、議事に入ります。

報告第16号、天王森古墳出土埴輪の「発掘された日本列島2026」展への出展について、を議題といたします。

担当のほうで説明をお願いいたします。

戸高生涯学習振興課長。

○生涯学習振興課長 報告第16号、天王森古墳出土埴輪の「発掘された日本列島2026」展への出展について、ご報告いたします。

資料は1ページをご覧ください。本定例会におきましても何度もPRをさせていただきます列島展ですが、いよいよ6月13日から始まりましたので、改めてご報告いたします。資料中1番、開催日は、展覧会全体として今年13日から来年2月28日までとなっております。

2番の会場は、現在、東京都江戸東京博物館において、7月26日までを会期として開催されております。以降、伊丹ミュージアムをはじめ、青森県八戸市、長野県松本市、新潟県の各会場でご覧の期間開催されます。主催は文化庁ほか、開催地の関係機関となっております。協力・後援は、記載のとおりとなっております、最後6番としまして、本市からの出展埴輪の内訳を記載しております。

2ページをご覧くださいまして、参考としまして、オープン初日の前日6月12日に報道機関と関係者を対象として開催されたプレスプレビューに、生涯学習振興課職員が参加しましたので、併せてご報告いたします。1番の開催日時は、6月12日、16時から17時の約1時間です。会場と主催は江戸東京博物館で、出席者は、主催者、関係者、報道機関等となっております。本市からは、生涯学習振興課文化財室の藤井室長と、林主任が出席しております。その下に、当日の会場の様子を写真で付けておりまして、1番は文化庁の方の全体を受けての説明会、2番は当市の埴輪についての文化庁の方からの説明の様子になります。

出席した職員からの報告によりますと、天王森古墳の埴輪は、ほかの出展品と比較してもかなりサイズが大きく、会場の中央に位置されていたこともありまして、出席者からかなり注目を浴びていたとのことでした。なお、列島展の出展につきましては、今後、市役所庁舎やゆめタウンに横断幕、懸垂幕を掲示し、その他うちわやコースターなど、出展記念グッズを作成して、様々な場所でPR活動を展開していきたいと考えております。

報告は以上です。

○**教育長** 「発掘された日本列島2026」展への出展ということで、めでたい、明るい話題でございますが、これにつきまして、感想とかご意見とかございますか。

これ図書館のほうで何か写真展をやっていますが、これについて関連として説明してもらえますか。

網本図書館長。

○**図書館長** お手元でございます6月9日付の記者発表資料について、既にご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますが、改めてご説明いたします。先ほどの報告のとおり、天王森古墳から出土しました埴輪が「発掘された日本列島2026」に展示されています。資料の目的にありますように、古墳での発掘の様子、復元、出展するまでの様子をパネルにして、ほしらんどくだまつ交流プロムナードで写真展を開催しています。展示の様子は、資料2枚目でございます。実際にはかなり大きなパネルでございまして、縦が180センチ。お忙しいとは思いますが、委員の皆様にはぜひ足を運んでいただければと思います。

図書館では下松のお宝ガチャと言いまして、令和6年度から始めておりまして、これは文化財などをキーホルダーにして1個100円で販売しています。その第3弾として「発掘された日本列島2026」のバージョンを作成しました。詳細は、資料の3枚目になります。この写真展とお宝ガチャについて、既に新聞社4社から取材を受けています。朝日

新聞、読売新聞、山口新聞、日刊新周南です。委員の皆様のお手元にございます「発掘された日本列島」展の絵柄のバッジですが、埴輪の出展品と、下松のマスコットキャラクターでありますくだまるのPRとなるように、委員の皆様の胸元などにつけていただいて、PRいただければ幸いです。

私からの報告は以上でございます。

○教育長 最後に説明がありましたバッジですが、机上にお配りしていますが、これは教育委員会の職員は全員胸につけたり、名札につけたりして、この期間中、PRしているところとございます。皆さん、つけていらっしゃると思いますが、委員さんもまた協力していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。生涯学習、あるいは学校教育の中で、しっかり市民の方、子どもたちにこの埴輪の価値、すばらしさについて伝えていただきたいと思います。全国デビューもしておりますが、まず、下松市民にしっかり理解してもらうということが大事ななと思います。教育委員会の担当部署のほうで、またしっかり発信、啓発、周知を行っていただきたらと思いますので、よろしくお願いいたします。教育委員会の職員も、また東京のほうに足を運ぶものも何人もいると聞いておりますので、また感想を聞かせていただきたらと思っております。

これについてよろしいですか。（「はい。」と言う者あり。）では、報告ですので、ご了承していただきたらと思います。

今日の議題は以上でございます。

～ その他報告・連絡事項 ～

○教育長 では、その他の報告に入りたいと思います。

何か報告等ありましたら、挙手をお願いいたします。

田谷学校教育課長。お願いします。

○学校教育課長 失礼します。皆様に、プリントをお配りしております。情報提供ではありますが、現在の学校の取組の事例と、教育委員会としての取組について、ご報告いたします。

まず、最初の2枚、1番目です。探求エキスポという、末武中学校での新しい取組です。この1番最初のイラストの真ん中に、今日、先生たちの頭の中を覗いてみようとなります。要は、先生がどんな授業をしたいのかというのを子どもたちにしっかり発信して、子どもたちからも意見をもらうというような、今までにあまりないような取組でございます。

2枚目をご覧ください。実際にどのような形で先生がプレゼンをしたのかという、一例を載せています。先生の悩み、例えば生徒が答えのみを探してしまうけれど、先生としては、なぜそう考えたのかという過程を大切にしたいというような、メッセージを送るようなプレゼンを作成した先生もいました。その下の鉛筆で書いているものについては、子どもたちが先生のプレゼンを基に、メモしているものです。

左側の真ん中は、先生が、AIで漫画ふうに分の考えをまとめるというプロンプトを指示して作成をしたもので、これを基に子どもたちに授業について発信をしています。動

画を活用する先生もいれば、生成AIによる教材を、今のように作った先生もいます。子どもたちからも、こういう授業をしてほしいというような願いを持って、全ての学年、学級で実施をしています。

要は、小学校もですが、どうしても一斉授業、先生が説明して子どもたちがそれに答えるというような授業が、ともすると多くなりがちですので、授業は先生だけが作るものではない。子どもたちも一緒に作るのが授業だというメッセージを、しっかり子どもたちと共有をして、授業改善に努めていく。本市では学びを楽しむことというところをメッセージとして伝えていますので、それを学校が工夫をして取組をした一例でございます。これがまず一つ目の、末武中学校の取組でございます。

2番目です。2枚ほど用意しております。これは、下松工業と公集小学校の取組でございます。3番の年間計画、6回を予定しています。小学校には年間、6回から10回ぐらい、どの小学校でもクラブ活動というのがございます。大体4年生から6年生までが縦割りで、一緒にクラブ活動を希望するというものです。今までのクラブ活動は、どちらかというと校内の中でドッジボールクラブであったり、折り紙クラブであったり、そういったクラブを作るのですが、今回新たな取組として、公集小学校から下松工業に出向いて、下松工業の生徒さんと関わるというクラブ活動を、新たに公集小学校が企画しています。

2枚目に、そのときの様子、画像を紹介しています。このときは、主にプログラミング体験の画像でございます。この画像は子どもたちが見ているというところではありますが、今後、機械科の体験学習が入ったり、いろいろなプログラムが組まれていく予定です。

現在、本市では、小中学校が高校や大学、企業、関係の市長部局と連携した取組をということを強化しています。キャリア教育という、子どもたちが憧れを持つというところが、教育にとって大変効果が高いと考えておりますので、その辺り教育委員会としても支援をしていきたい、その一例でございます。

次に3番目です。A3縦の資料になるのですが、キラリくだまつ授業づくりというものでございます。これは実は、学校教育課で10年以上前に作っていたものではありますが、今、次期学習指導要領を踏まえて、新たに作り直したところでございます。真ん中にあります三つの工夫と九つの視点で学びを楽しむ子を育むということで、先ほどの末武中学校の例ではないのですが、教育委員会としてどういう授業をしてほしいというメッセージを、学校のほうに伝えていくものです。今後、校長会、学力向上の担当教員の研修会等で周知をしますし、学校訪問とか、校内研修で指導主事が指導授業をする際もありますので、そういったところで活用をしたいと思います。

最近、若い教員が大変増えております。授業づくりに悩まれている先生も多うございますので、最初から1年目の先生がこれ全部できるかという、なかなかそれは難しいですけれども、視点を持って授業をしていくための貴重な手がかりになるのではないかなと考えています。

それでは最後に、4番目です。教育委員会では毎年、学校教育課の職員、生涯学習の社会教育主事、それから教育長とで、毎年学校訪問を実施しています。各学校を年1回訪問することにしており、11月まで続く計画としております。実際の内容としては、授業参観をする、校長、教頭だけでなく、生徒指導主任や研究主任の話を実際に聞く等の内容を

入れております。

1点、委員さんにご提案があります。2学期から9月以降、いろいろな学校に私ども訪問しますが、もしよろしければ委員さんにも、どこかの学校1校でも、一緒にご同行いただけたらと考えているところです。急なお願いにはなるのですが、ついては具体的にこちらのほうから希望調査票みたいなものをお渡しして、日程調整ができればいいかなと考えておりますので、ご検討いただけたらと考えています。

私からは以上です。

○**教育長** 何点か新しいこと、提案等ございましたが、ご質問はございませんかね。私のほうからもエキスポですか、探究エキスポ、これ新しい取組だと思います。これが1回目ですが、2回目に実施されるときに、ぜひどのように先生方、あるいは子どもたちが受け止めて変わってきたかとか、そのあたりをまた聞かせていただけるとありがたいと思います。また可能であれば、エキスポにも顔を出してみたいと思いますので、調整がつけばお願いしたいなと思います。

これはすごく県内でも注目される取組だと思うので、ぜひ、末武中だけでなく市内のほかの学校とも、いいところを波及していただければと思うので、また末中とも話をして、広げていけたらと思います。

それから、授業づくりですけど、これ非常にすばらしい、カラフルで、内容もコンパクトにまとめられたなというふうに、私は評価しております。今年度から子どもたちに学びを楽しむという視点で学習に取り組む、そういった姿が見られるような授業を学校で作っていかうということ、みんなで取り組んでいるということです。九つの視点で授業を工夫していくということです、先生方が授業をどう作るのかということです、この裏側ですよ。逆に子どもたちにとっては、どういうふうにこの学びを楽しむように取り組んでいけばいいのかというふうなもの、できるといいかなというふうに思っています。

究極といいますか、一番の目的は、子どもたちが学びを楽しむだけではなく、そのことによって自立した学習者というか、それが一番の目的なので、子どもたちが日々の学習を通して、自分で学び続けていく、生涯学び続けていくという基礎的な力を作っていくのが学校の役目だと思うので、その辺の抑えもしっかり教員のほうにしていける必要があるかなと思っています。

私のほうでいろいろ言いましたけど、何かございませんか。では、ほかにございますか、報告事項は。ございませんか。

それでは、小濱係長、お願いします。

○**教育総務課管理係長** それでは、資料4ページをご覧ください。来月7月の予定表になります。来月の定例会は、23日木曜日、14時から502会議室で開催の予定としておりますので、皆様もご出席よろしく願いいたします。

また、定例会終了後、教科用図書関係のことについて臨時会を予定しておりますので、昨年度もあったかと思いますが、こちらにつきましてもご出席のほう、よろしくお願いいたします。大体30分程度を予定しています。

また、来月の予定ではないのですが、教育委員のほうで県外への視察を検討しておりまして、そのことについて、委員の皆様はこちらから説明をしたいので、定例会が終

わっても、そのまま席にいていただけますよう、よろしくお願いします。

私からは以上になります。

○教育長 ほかよろしいですか。（「はい」と言う者あり。）それでは、以上をもちまして、
6月26日の教育委員会定例会を終了いたします。皆様、お疲れさまでした。

午後 1時30分終了